

東交大同窓会会報

第 40 号

平成二十八年九月一日

東京交通短期大学同窓会

発行責任者 半沢貞夫
編集長 岡幸雄
副編集長 岩井優太

平成29年度後期 新校舎竣工

東京交通短期大学の新たな校舎が、平成29年度後期に完成します。川越街道沿いの旧1号館の跡地に、地上10階建てのひとときが目立つモダンなデザインの校舎で、学校のご配慮により、同窓会会員も利用できるスペースを設けていただけることとなりました。



〈完成予想図〉

同窓会の役割

同窓会会長

半沢 貞夫



顧みれば、一

九七三年に発足

した同窓会は、

四十三年の長き

にわたり本校の

発展と会員相互の親睦を図る活動を積み重ねてきました。この先人の努力によって作られてきた伝統を継続していかねばなりません。

さて、上のパース図の通り本校の新校舎が来年度竣工いたします。同窓会では、会員の利用できる場所の設置を要望してまいりましたが、学校側のご厚意により叶うこととなりました。今後は会員同士並びに学校、在校生との接点など有意義な利用態勢を整えていきたいと思います。また、今年度より長年学校並びに同窓会の運営においてもご尽力を賜りました松岡先生が学長にご就任されました。先生には、今後ともご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、同窓会の在り方ですが、同窓会は自分たちの心の支えと同時に、学校並びに後輩である在校生に大きな力を与える存在でなくてはならないということも忘れてはなりません。

JR東日本では、各種職場の経験豊富なOBを「安全の語り部(経験の伝承者)」として任命し、経験を通じて事故の教訓や悲惨さを現役社員に伝えることで安全性を高めようという制度を設けています。同窓会にも当てはまることではないでしょうか。幸い、特別教養講座では同窓生による講義も行われ、また東交祭の同窓会コーナーや貸切列車などで在校生とのコミュニケーションの場を増やす努力を行っています。

将来交通関係企業を目指す在校生あるいは就職間もないOBにとって、鉄道関係の現役あるいは第一線をリタイヤされた同窓生の経験談は正に活きた教科書となります。冊子にまとめるなど、発表方法、機会を捉え学生のみならず関係者へ情報を提供することは本校を広く知って貰う有効な手段となるものと思います。少子化という厳しい環境の中、いかにして母校の進境を守っていくか。これも我々に与えられた課題との認識のもと、今時こそ同窓会としての充実した活動が求められるものと痛感します。

会員の皆様、特に現役をご卒業された同窓生のご協力、お力添えをお願いするとともに、役員一同心を一つにして、母校ならびに同窓会の一層の共栄に寄与していく決意です。

(十五回生)

学長就任にあたって

学長 松岡 弘樹



同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。

平成十七年四月に副学長を拝命して以来、長らく同職にありましたが、小西一雄学長のご退任に伴いまして、平成二十八年四月より学長を拝命することになりました。

日本の大学は、「二〇一八年問題」を目前にして、全国的に冬の時代を迎えているといわれていますが、本学も例外ではなく少子化により非常に厳しい局面を迎えております。加えて、本年度は自己点検・評価の審査年となっております。自己点検・評価とは、大学が教育研究水準の向上や活性化に努めると共に、その社会的責任を果たしていくため、その理念・目標に照らして自らの教育研究活動等の状況について自己点検を行う制度で、七年周期で一度、全ての短期大学が点検を行う事が義務付けられています。本学は、平成二十二年に第一クールの審査をパスして「適格」と認定されました。今回が第二クールの審査となりますが、第一クールより厳しい内容となっております。現在、適格の認定を受けるべく全学を挙げ

て対応にあたっています。

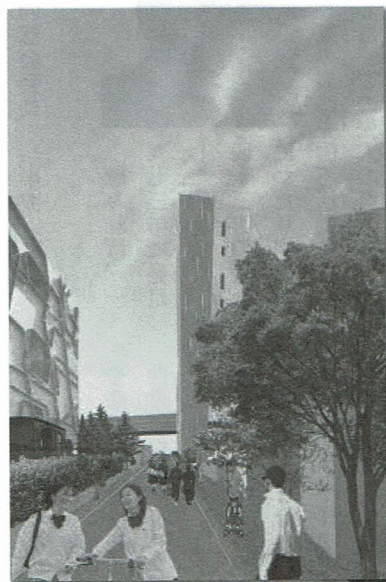
一方、明るい話題としては、昨年度はここ数年で最高の就職率となりました。

本学の学生と他の大学の学生との違いの一つは、各人が入学時点で明確な目的意識をもっている点です。すなわち、ほとんどの学生が入学時から卒業後に交通なかでも鉄道企業への就職を希望しており、本学の進路の指導等もこの点に特化しています。この数字を維持する事が学生一人一人の希望を叶える事につながることから、次年度以降もこの数字を維持すべく施策を講じる所存です。

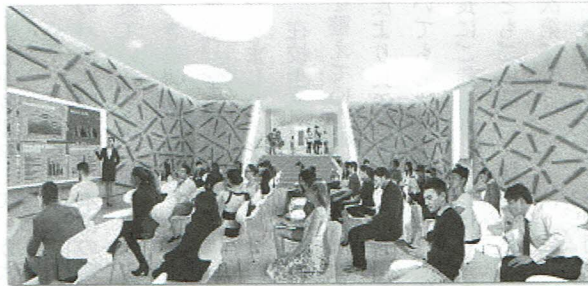
また、平成二十九年途中で、新校舎が竣工し、教育環境が大幅に改善される予定です。場所は、川越街道に面して一号館が建っています。この跡地に十階建てで建築される予定です。完成予想図は別図の通りですが、本学のHPでもご覧になれますのでご覧下さい。新校舎には、同窓会室も設けております。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りいただきたいと思っております。

本学は日本で唯一の「運輸科」を冠する伝統のある短大です。この灯を絶やすことなく、さらなる発展を期して全教職員一丸となって取り組む所存です。同窓会員の皆様の一層のご支援をお願いしたいと存じます。

新校舎竣工で一新されるキャンパスライフイメージ



外観イメージ



エントランス



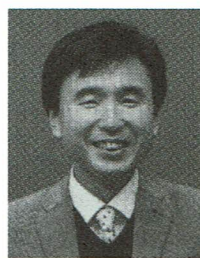
模型写真



学生ホール

平成二十七年学事報告

教授 岸 康人



同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと大慶に存じます。

さて、本年度も、平成二十七年年度の学事について簡単にご報告させていただきます。

1. 新・退任教職員について

【退任教員について】

平成二十七年年度をもちまして、小西一雄学長が退任されました。小西先生は、三十七年の長きに渡り立教大学で教鞭をとられ、学部長他数多くの要職を務められた後に、平成二十五年より本学の学長に就任されました。先生のご専門は経済・金融の分野で、この分野で数多くの著書・論文を発表されるとともに、多数の学会で幹事、理事として精力的に活躍をされておられます。学長在任中は、「日本経済と金融」「世界経済と金融」を担当され教壇に立たれると共に、短大の改革のために尽力されました。小西先生のご功績を称えらると共に、今後のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ま

た、その他に以下の教職員の方々のご退任されました(カッコ内は担当科目)。

(専任教員) 大田博樹先生(交通会計論、会計の基礎、簿記論、基礎ゼミ、交通会計論ゼミ)、板井広明先生(歴史学、政治経済、現代社会論、社会政策研究ゼミ) ※大田先生は、非常勤教員として引き続きご勤務されます。

(非常勤教員) 渡部正治先生(企業倫理)、小野寺理文先生(コンピュータ実習)、花山英治先生(コンピュータ実習)

紙面の関係から、個々の教職員の方々のご功績の紹介は省略させていただきますが、ご退任された教職員の方々への長年に渡るご尽力に感謝すると共に、今後の益々のご活躍を祈念させていただきます。

【新任教職員について】

小西学長の退任に伴い、平成二十八年度より、松岡弘樹先生が学長に就任されました。松岡先生は、昭和五十八年に本学に赴任され、平成九年に教授になられた後、平成十七年から副学長として本学の教育・研究に献身されています。先生は、法学の専門家であり、とくに商法・会社法に関する著書や論文で功績を上げられている一方で、本学では交通判例分析ゼミから多数の優れた人材を輩出し

ています。今年度からは、長年のご経験を生かし、学長としてリーダーシップを発揮され、本学のさらなる改革に取り組みられます。

平成二十八年度より、以下の教職員の方々が赴任されました。

(専任教員) 安達和年先生(情報システム論、コンピュータ基礎、コンピュータ実習、基礎ゼミ)、井戸大輔先生(歴史学、基礎ゼミ、観光事業論、マーケティング論、経営戦略論)、平野琢先生(企業倫理、政治経済、経営法学、組織論、コンピュータ実習)

(非常勤教員) 町田直子先生(基礎英語)、中島麻紀先生(鉄道基礎)、福山圭介先生(現代社会論)、櫻井寛先生(世界の鉄道研究)、濱雄亮先生(鉄道史)、平田沙織先生(交通会計論、簿記論)

(事務局) 森田直子さん

短大においても、各教職員の方々専門分野で長年培われたご経験を生かされたいと思っております。

2. 学校行事について

平成二十七年年度の学校行事に関しては、前期は、(四月)入学式・一年次および二年次オリエンテーション、(五月)一年次学生相談・学外レクリエーション

(シチズンプラザにてボウリング大会)、(六月)第一回体験入学会・第一回オープンキャンパス、(七月)第二回体験入学会、前期試験、(八月)第二回・第三回オープンキャンパス、の各行事を実施しました。

後期は、(九月)東交祭、後期ガイダンス、(十月)第三回体験入学会、二年次学生相談、(十一月)交通見学会(洋食マナー講習会、東京モーターショー見学)、第四回体験入学会・後期一年次学生相談、(十二月)第五回体験入学会・専門ゼミ発表会(説明会、(一月)第六回体験入学会・後期試験、の各行事を実施し、三月に卒業式を挙行いたしました。

例年通り、入学式と卒業式には、同窓会会長の半沢先生にご出席をいただきました。祝辞を賜りました。東交祭には、同窓会ブースを設け、学生・来校者との交流の場を提供していただきました。同窓会役員の方々のご協力に感謝いたします。

3. 時間割について

平成二十八年度の時間割と特別教養講座カリキュラムが別表のように決まりました。特別教養講座につきましては、昨年度に引き続き、前同窓会会長の川島一

郎先生、同窓会会長の半沢貞夫先生、同窓会副会長の武田浩一先生の三人の先生に講義をご依頼しております。

例年ご案内いたしておりますが、特別教養講座は公開講座となっております。

ご来校して久しぶりに母校での講義をお聞きになって、学生時代を思い出していただくのは如何でしょうか。同窓会会員の皆様のご参加をお待ちしております。

平成二十七年就職状況及び

平成二十八年就職支援

キャリア支援室 栗原 圭二



同窓会の皆さま、本学キャリア支援室でお世話になって三年目になりました。栗原と申します。同窓会の皆さまには、就職支援の一環としての出張講義や後輩へのアドバイス等におきまして、大変お世話になっております。

平成二十七年就職状況は、卒業生八十五名に対して七十八名が就職先を確定し卒業いたしました。その後四月末までに追加三名の就職先決定の報告を確認し

ております。進学が三名のため、卒業後、就活中の学生は一名という状況です。

平成二十七年度は、JR五社に十一名、東武グループに三名、東京都交通局協力会に七名など昨年と比べて鉄道企業就職が二十一名増となり良い結果を出すことができました。(鉄道企業就職者五十三名 昨年三十二名)

また、十二月にOBの方に紹介いただきました銚子電気鉄道にも就職することができました。社会全体としては就職環境が良くなっていますが、鉄道業界は、四年制大学生にも大人気の為、短大としては苦戦を強いられております。ぜひ求人があればお声がけいただければ幸いです。

平成二十八年度は、「採用選考に関する指針」の手引きの改定(就職活動時期の変更)が昨年度に引き続き二年連続であります。就職活動スタートについては昨年同様三月ですが、選考開始は八月から六月へと変わりました。七月十日現在、鉄道企業の内々定者は十三名となっております。選考中の鉄道企業やこれから選考の鉄道企業もまだまだあります。昨年に引き続き各社手探りの状況が続いています。また、一般企業は昨年来、早々に受けるように授業などで話をしていますので、一般企業の内々定者は十六名と

なっております。その他に交通関連企業(バス会社等)への内々定者が三名おります。(一般企業を受けるということは、第一志望の鉄道企業を受ける前にまずは面接などに実体験をしておくことはとても重要となるためです。)

今年度は昨年度から充実させたキャリア系授業をさらに活用させていただきます。昨年追加した「文章表現技術」(社会人として必要な文章表現を学ぶ)「ビジネスマナー」(鉄道人としての接客を知る)を受講することにより、鉄道業界が必要とするコミュニケーション力の高い鉄道人を育てていきます。一年後期から二期前にかけて各鉄道企業に協力いただき会社説明会やOBによる就職活動ポイントの話などを実施しています。

同窓会の皆様とは、就職支援の観点からもぜひ後輩に対していろいろな経験談をお話しいただけると幸いに思っています。今年度は九月後半までに大手企業の採用が決まってくると思っていますので、東交祭などにお越しの際はぜひキャリア支援室にお立ち寄り、進路についての疑問質問をお気軽にしてください。

最後に、平成二十七年の就職・進学状況について簡単に報告させていただきます。平成二十八年三月卒業生八十五名中、

交通関連企業へ五十九名(昨年同時期四十二名)、一般企業二十二名(昨年同時期二十八名)、進学三名(昨年同時期六名)という状況でした。(四月三十日現在)

鉄道関連の就職先は次の通りです。

【鉄道関連企業別内定者数】

- 東日本旅客鉄道 二名(昨年二名)
- 東海旅客鉄道 二名(昨年一名)
- 西日本旅客鉄道 三名(昨年一名)
- 北海道旅客鉄道 三名(昨年無)
- 日本貨物鉄道 一名(昨年無)
- 新幹線メンテナンス東海 一名(昨年無)
- ジェイアール東海バスセンターズ 一名(昨年無)
- 東京地下鉄 三名(昨年無)
- 東武ステーションサービス 二名(昨年四名)
- 東武エンジニアリング 一名(昨年無)
- 西武鉄道 一名(昨年無)
- 京王電鉄 一名(昨年無)
- 相模鉄道 一名(昨年無)
- 京成電鉄 一名(昨年一名)
- 京急ステーションサービス 一名(昨年無)
- 鹿島臨海鉄道 一名(昨年一名)
- 関東鉄道 三名(昨年一名)
- 秩父鉄道 一名(昨年無)
- 富士急行 一名(昨年一名)
- 銚子電気鉄道 一名(昨年無)
- 阿武隈急行 一名(昨年無)

名古屋鉄道 一名(昨年無)

あいの風とやま鉄道 一名(昨年一名)

東京都交通局協力会 七名(昨年九名)

JR東日本運輸サービス

十一名(昨年四名)
一名(昨年無)

平成二十八年入試報告

入試委員長 高橋 真悟



平成二十八年
度入学(平成二
十七年度実施)
の入試は、志願
者数七十四名、

合格者数七十二名、入学者数六十九名で、
定員の八十名に十一名足りないという定
員割れの結果となりました。前年度と比
べると、志願者は五十二名の減少、入学
者も三十二名の減少という急激な落ち込
みを示す結果となりました。同窓会の皆
さまに、ご心配をかけることになったこと
に対して、お詫び申し上げます。

このような状況となった原因は複数考
えられますが、一番大きな影響として考
えられるのが、雇用情勢です。下の図は、
本学の志願者(左目盛)と有効求人倍率

(右目盛)の関係を示しています。平成

二十一年を見ていただくと、リーマンシ
ョックの影響で景気が急激に悪化し、有
効求人倍率が〇・四五(職を求めている
一人一人に対して、〇・四五の求人しか
ない状況)となっております。このとき、本
学の志願者が一二八人から一七六人と急
増しています。これは、高卒での鉄道会
社就職が叶わず、なおかつ専門学校に比
べて学費の安い本学への魅力が高まった
結果だと思えます。一方、図の一番右が
今回の状況を表しています。有効求人倍
率が一・二一と最近十年間では最もよい
雇用情勢となっております。その結果、高
卒で鉄道会社に就職する高校生が増え、
本学への志願者が急減したことが考えら
れます。この傾向は、リーマンショック
前の景気回復期に該当する平成十八年
もあてはまります。すなわち、このデー
タからいえることとして、本学は不況に
は強いが、景気回復期には弱いことが読
み取れます。

日本の短期大学が置かれている状況を
確認すると、短期大学の学校数および学
生数は、平成五年から平成八年をピーク
として減少し続けています。そして、十
八歳人口が減少している傾向を反映して、
全国の短期大学で定員割れが深刻化して

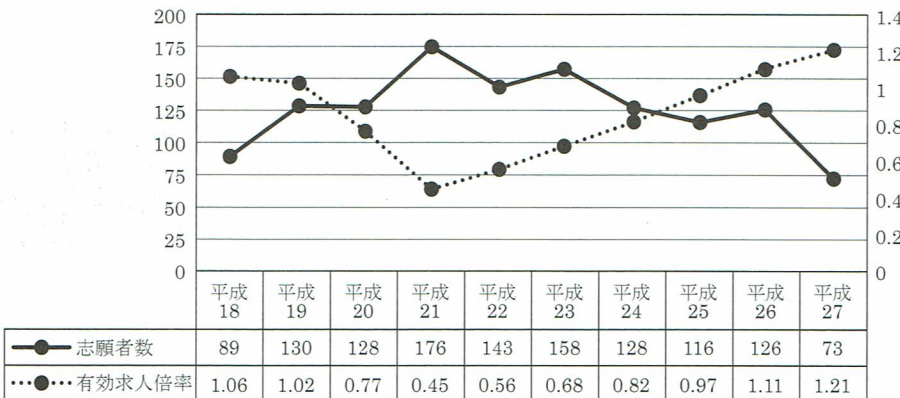
います。日本私立学校振興・共済事業団
の調べによると、平成二十七年の短期
大学における定員割れは一九二校で、短
期大学全体(三一五校)に占める割合は
六〇・九%となっております。十八歳人口
が急激に減少する「二〇一八年問題」も
間近に迫っているなか、短期大学の入学
者確保は非常に厳しい状況に置かれてい
るといえます。

このよう状況のもとで、本学もさまざ
まな対策を講じております。まずは、A
〇入試の条件としていた「体験入学会ま
たはオープンキャンパスへの参加義務」
をやめ、遠方からの受験や、急に受験を
決めた場合に受験しやすくしました。次
に、体験入学会の回数を増やすと同時に、
予約制から予約なしにして、参加しやす
い状況を整えました。そして、高校訪問
について、従来は一部の高校を年に一度
訪問するだけだったのを、同じ高校に複
数回訪問して、入学実績のある高校との
関係を強化するよう努めております。

本学は現在、入学状況が厳しいものの、
鉄道業界への就職状況は好転しておりま
す。また、今年度からは「鉄道基礎」を
はじめとした交通関係の授業も増やし、
来年度後期には新校舎も完成します。こ
のような「売り」となるものを活かした

入試・広報活動を展開しています。厳し
い状況が続きますが、同窓会のみなさま
におかれましても、本学に興味のある方
がいらつしやいましたら、ぜひ体験入学
会やオープンキャンパスへのご参加をす
すめていただくと幸いです。みなさま
のご協力をよろしくお願い申し上げます。

本学の志願者(左目盛)と有効求人倍率(右目盛)の関係



2016年度 特別教養講座カリキュラム(案)

前期(土)13:10~14:40 (6月18日、7月23日、8月27日はオープンキャンパスのため、13:00~14:00)

| 開講日 | 講演者 | テーマ |
|-------|---------------------------------|---|
| 4月9日 | 金ピカ先生 教育評論家、タレント | マイナスをプラスに変え、ツキを呼ぶ生き方 |
| 4月16日 | 石村 誠人 駅デザインとパブリックアート研究会代表取締役 | これからの駅舎の有り方等を通じて学ぶべきこと |
| 4月23日 | 森田 喬 法政大学デザイン工学部教授 | 地図に見る交通 |
| 4月30日 | 大坂 直樹 (株)東洋経済新報社編集局記者 | 鉄道業界と経済・社会の関係を学ぶ |
| 5月7日 | 岩武 光宏 近現代史研究者 | 近現代史を学ぶ~歴史認識と鉄道の役割~ |
| 5月14日 | 齋藤 順治 (株)JR東日本ステーションサービス代表取締役社長 | 第二の出発点に立ったJR東日本グループ |
| 5月21日 | 平田 一彦 東武鉄道(株)常務取締役グループ事業部長 | 都市鉄道をめぐる経営環境 |
| 5月28日 | 井上 治 拓殖大学政経学部教授・法律政治学科長 | インドネシアの交通事情 |
| 6月4日 | 尾崎 正明 東京急行電鉄(株)内部統制室専任主幹 | 鉄道運転士に求められるもの |
| 6月11日 | 太田 実 松蔭大学観光文化学部准教授 | テーマパークの歴史と展望 |
| 6月18日 | 渡部 史絵 鉄道ジャーナリスト、オフィスSTJ代表 | 鉄道復権 |
| 6月25日 | 前田 悦子 駿河台大学経済経営学部准教授 | 20歳からの年金制度 |
| 7月2日 | 亀山 直人 日本貨物鉄道株式会社本社総務部副部長 | JR貨物の現状と課題、取組み |
| 7月9日 | (株)全日警 人事本部人材採用部長 | 続インド・ASEAN 広域高速鉄道網建設構想 東京オリンピック・リニア中央新幹線と全日警 |
| 7月16日 | 山本 俊之 西武鉄道株式会社練馬駅管区長 | 「でかける人をほほえむ人へ」西武鉄道の取組みについて |
| 7月23日 | 鉄道フォトジャーナリスト・ (株)エクスプレス取締役 | EKB47 (EKIBEN47 都道府県) |
| 7月30日 | | 予備日 |
| 8月27日 | 上野 貞行 東日本旅客鉄道(株)池袋駅駅長 | JR東日本グループの果たすべき役割 |

後期(土)13:10~14:40

| 開講日 | 講演者 | テーマ |
|--------|---|---|
| 9月24日 | 花上 嘉成 (株)東武鉄道共助会 東武博物館理事・名誉館長 | 昨今の鉄道 |
| 10月1日 | 萩原 俊夫 元東京急行電鉄(株)営業本部営業推進 部主査 | 鉄道員としての毎日 |
| 10月8日 | 平柳 聡 造景師(情景モデラー) | 生活に密着した鉄道風景の魅力 |
| 10月15日 | 半沢 貞夫 本学同窓会会長・元交通新聞社出版 編集部長 | 「新幹線50年史」を読む |
| 10月22日 | 吉田 一宏 東武鉄道(株)生活サービス創造本部SC 事業部課長 | 東武鉄道の広告事業について |
| 11月5日 | 岡本 久 本学名誉教授 | 高齢化社会における交通について |
| 11月12日 | (株)ジェイアール東日本都市開発 ショッピングセンター事業本部次長 | JR東日本の現状と企業が求める社会人につ いて |
| 11月19日 | 川島 一郎 東日本鉄道OB会東京地方本部専務理事 | 元気なJR東日本グループ |
| 11月26日 | 木原 庄二 東日本旅客鉄道(株)松戸駅駅長 | 顧客満足度 鉄道業界NO1をめざすための 駅の取組み |
| 12月3日 | 佐藤 美知男 元鉄道博物館客員学芸員 | 鉄道の乗車マナーとルール |
| 12月10日 | 田中 宏司 本学元学長・本学名誉教授 | 最近のコンプライアンス経営と企業の社会的 責任(CSR)―企業人になるための心構え― |
| 12月17日 | 武田 浩一 本学同窓生副会長 | 鉄道乗務員の普段 |
| 1月14日 | 石上 七輔 松蔭大学コミュニケーション文化学 部日本文化コミュニケーション学科 教授・学科主任 | 古代の交通と信仰 |
| 1月21日 | 米山 淳一 (社)横浜歴史資産調査会常務理事 | 鉄道遺産を生かしたまちづくりと地域活性化 |
| 1月30日 | | 予備日 |

(敬称略)

| (1 年次) | | | | 平成 28 (2016) 年度時間割 | | | | (2 年次) | | | | | |
|--|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------|--------------------|---------------------------------|---|---|----------------------------------|-------------------------|------|------|------|------|
| 1 時限 | 2 時限 | 3 時限 | 4 時限 | | 1 時限 | 2 時限 | 3 時限 | 4 時限 | | 1 時限 | 2 時限 | 3 時限 | 4 時限 |
| 13:10 ~ 14:40 | 14:50 ~ 16:20 | 16:30 ~ 18:00 | 18:10 ~ 19:40 | | 13:10 ~ 14:40 | 14:50 ~ 16:20 | 16:30 ~ 18:00 | 18:10 ~ 19:40 | | | | | |
| | 基礎ゼミ I (安達) 302 | 実務基礎 能力論 I A/B (岸) 301 | 交通概論 A/B (栗田) 301 | 月 | | | 経営管理論 (前) (原谷) 101 | 交通経済学 (前) (原谷) 101 | | | | | |
| | 基礎ゼミ II (藤井) 301 | 実務基礎 能力論 II A/B (藤井) 201 | | | | | 航空論(後) (栗田) 101 | 組織論(後) (平野) 101 | | | | | |
| | 基礎ゼミ III (井戸) 201 | 実務基礎 能力論 III A/B (田邊) 202 | | | | | | 交通情報論 ゼミ (岸) 202 | | | | | |
| | 基礎ゼミ IV (平野) 101 | | | | | | | | | | | | |
| | 基礎ゼミ V (田邊) 202 | | | | | | | | | | | | |
| 哲学 A/B (篠原) 201 | 文章表現技術 A/B (新島) 201 | 観光関係法規 ① (前集) (手塚) 201 | 観光地理 (前) (有馬) 201 | 火 | 交通史 (前) 経済学史 (後) (高橋) 301 | 鉄道経済論 (前) 交通需要論 (後) (栗田) 301 | 鉄道運転論 (前) (藤原) 301 | 鉄道史 (後) (濱) 3201 | | | | | |
| ビジネス マナー (後) (夏城) 101 | 現代社会論 (後) (福山) 101 | 環境科学概論 A/B (中村) 101 | 保健体育理論 A/B (藤城) 101 | | 中国語 A/B (山口) 202 | | 観光プランニ ング実践 (後) (手塚) 301 | | | | | | |
| キャリア デザイン (前) キャリア コミュニケーション ション (後) (栗原) 101 | 鉄道基礎 (中嶋) 202 | 検定英語 (小池) 202 | 基礎英語 (町田) 202 | 水 | | 観光事業論 (前) 経営戦略論 (後) (井戸) 301 | 交通英語 A/B (大槻) 301 | 都市・ 地域交通論 ゼミ (栗田) 301 | | | | | |
| マーケティング 論 (後) (井戸) 201 | コミュニケー ション論 A/B (秋山) 101 | 文学 A/B (秋山) 101 | 歴史学 A/B (井戸) 101 | | | | 海運論 (後) (栗田) 201 | 交通判例分析 ゼミ (松岡) 201 | | | | | |
| | | 自然科学概論 A/B (佐藤) 201 | | | | | | 経済政策論 ゼミ (高橋) 302 | | | | | |
| 政治経済 (前) (平野) 201 | 情報システム 論 (前) (安達) 201 | 法学 A/B (松岡) 201 | 観光学概論 A/B (白土) 201 | 木 | コンピュータ 実習 I A/B (岸) 202 | コンピュータ 実習 IV A/B (平野) 202 | コンピュータ 実習 II A/B (安達) 202 | コンピュータ 実習 III A/B (安達) 202 | | | | | |
| 企業研究 (後集) ① (田邊) 101 | 企業研究 (後集) ② (田邊) 101 | 統計学 A/B (岸) 101 | 体育実技 A/B (山市) 体育館 | | | 経営法学 (後) (平野) 301 | 簿記論 (前) (平田) 301 | 企業倫理 (前) (平野) 301 | | | | | |
| | | | | | | | 世界の 鉄道研究 (後) (櫻井) 301 | 交通会計論 (平田) 301 | | | | | |
| キャリア 形成論 (後) (栗原) 201 | 経済学 A/B (亀川) 201 | 観光関係法規 ② (前集) (手塚) 201 | 旅行実務論 (前) (手塚) 201 | 金 | キャリア 情報論 (前) (栗原) 301 | 交通政策論 (前) (藤井) 301 | 物的流通論 (前) (古井) 301 | | | | | | |
| | 経済学 A (前) (高橋) 101 | 経済学 B (後) (高橋) 201 | 心理学 A/B (兼高) 101 | | | | | 交通論ゼミ (藤井) 101 | | | | | |
| | 交通事業論 (後) (藤井) 101 | | | | | | | 交通経営論 ゼミ (亀川) 302 | | | | | |
| 特別教養講座 A/B (高橋) 301 | 自己表現法 (前) (田邊) 201 | コンピュータ 基礎 (後) (安達) 201 | 補講 | 土 | キャリア実践 (前) (田邊) 101 | 交通技術論 (前) 鉄道システム 論 (後) (前橋) 101 | 自動車交通論 (前) ホスピタリ ティ論 (後) (湯田) 101 | 補講 | | | | | |
| | 会計の基礎 (後) (大田) 201 | | | | | | | | 交通会計論 ゼミ (大田) 302 | | | | |

海岸線に響く警笛

「伊豆急100系貸切列車の旅」

第四十一回生 湯川 信久



「出発進行！」
の声とともに動き出した伊豆急100系電車。平成二十八年二月六日午前十一時九分伊豆高原駅。乗客は交通短大同窓会一行です。

このたび同窓会では、OBと現役学生様並びに短大教員様との親睦を図るため、「貸切列車の旅」を実施致しました。参加人数は家族参加者を含め総勢二十七名です。

今回は、伊豆急行株式会社様にご協力賜りまして、100系電車を貸切列車として運行して頂き、またマニア垂涎の「稲取貨物線」に入線するコースを含めた内容となり、伊豆高原駅〜稲取貨物線入線〜片瀬白田駅〜伊豆急下田駅〜南伊東駅〜伊豆高原駅と廻るコースです。

当日は伊豆高原駅に集合の後、伊豆急行株式会社様のご厚意により、「伊豆高原基地」の見学をさせて頂き、参加者全員で記念撮影を行い、列車の旅が始まりました。

車内では、同窓生で別の鉄道会社に勤務している現役鉄道マンのパフォーマンスや、当日乗務された貸切列車の乗務員様からこれから鉄道マンを目指す方へのアドバイスを頂いたり等、和気藹々とした雰囲気です。

なお、卒回五十六回生の小澤梓さんが伊豆急行株式会社様に勤務しておられます。貸切列車実施時は現役で車掌勤務をされており、今回は非番でこのイベントにご参加頂き、小澤さんによる沿線案内を行って頂きました。

そして、伊豆急行線と100系電車を堪能し、無事に伊豆高原駅に到着。最後に駅前で記念撮影を行い散会となりました。

過去の学友、そして先輩後輩とのふれあいを楽しむ最高の機会でした。

今後同窓会では貸切列車の運行を予定しておりますので、ぜひご参加下さい。きっと楽しいひと時を共有出来ることと存じます。

このイベントにご参加頂きました皆様並びに快く貸切列車の運行をお引き受け頂きました伊豆急行株式会社様に心より御礼申し上げます。本当にどうもありがとうございました。

東京交通短期大学同窓会

伊豆急貸切列車実行委員会

実行委員長 四十一回生 湯川信久

実行委員 四十回生 雨宮 豊

四十一回生 武田浩一

四十四回生 岡 幸雄

四十九回生 岩井優太

五十六回生 小澤 梓



伊豆高原基地にて

「箱根登山鉄道 貸切列車の旅」

開催予告

平成二十八年年度の同窓会イベントとして「箱根登山鉄道 貸切列車の旅」の開催を企画しています。日時は、十二月十八日(日)昼頃箱根湯本駅集合、十六時頃解散。途中見学会などを予定しており、現在実行委員会では箱根登山鉄道様と折衝、検討中ですが、内容が変更になる場合もあります。

詳細につきましては、決定次第同窓会ホームページに掲載いたします。ご参加を希望される方はご確認のうえお申し込み下さい。



片瀬白田駅にて

在学生・OBの交流について

講師 前橋 栄一



今年二月、同窓会主催の「伊豆急一〇〇系電車」貸切ツアーに同行させてい

ただく機会を得ました。実は、私が所属している地元鉄道クラブ名義のお誘いで、参加してみたら唯一本校の現役教職員という立場でした。幸いにして在校生の参加もありOBと現役の学生が交流する貴重な集いとなりました。

しかしながら飲酒機会もある宴会的な設定のため、未成年者の学生には若干抵抗のある内容でしたが、沿線には貴重な同窓会貸切電車を撮影すべく現役の学生の姿もちらほら見られました。

各世代の様々なOBの近況報告はどれも楽しく、できれば一人でも多くの在校生に聞いてもらいたい内容でもありました。

さて、昨年度より開催しております休日を利用した鉄道系博物館見学ですが、学校行事でもないのに拘わらず複数の学生の参加があり、今年は昨年卒業の新米OBが複数参加され、展示物の解説を代

行させたりと楽しい機会となりました。まだ会社に入って間もない彼らが在校生に対して日々の業務経験なども話してくれたりと抜群の存在感と頼り甲斐ある姿を披露してくれたのは何よりでした。在校生も良い情報が得られ満足であったと思われまふ。今回は学校側の配慮で事前に傷害保険適用行事としていただき、安心して開催できた点も報告させていただきます。

このような機会を次回も持ちたいと考えておりますが、事前に同窓会にもお声をかけてもつと年次の高い先輩方にも参加していただき在校生との貴重な交流の場として活用できないものかと考えておりますので、OBの皆様にも多数お出掛けいただけるようご配慮いただければ幸いです。OBの皆さんはその後夕方懇親会ということで。

OBからの生きた情報は、学生達にとって大変貴重なものとなります。いつでもOBが集まれる環境や場所が新しい校舎に整備されれば素晴らしいものと、引き続き学校側には配慮をいただきたいです。先日OB一年生との話で、もしそのようなスペースが出来たら在校生からOBへの質問箱などがあると理想的という話になりました。答えられるOBが会社

や専門的な質問に答えてくれれば学生も有難いことと思います。

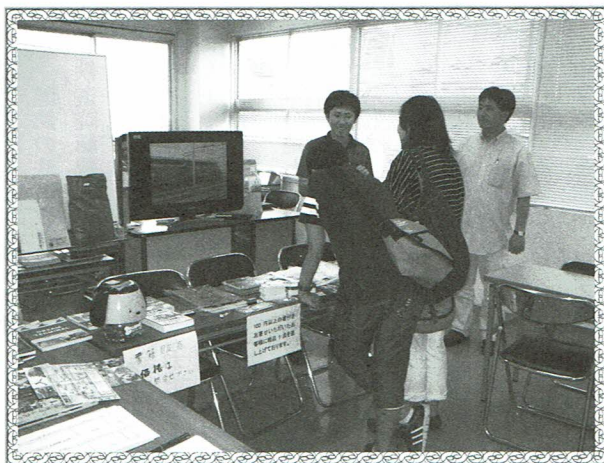
学生支援だけでなく、比較的若いOBへの情報提供支援なども出来ないものかと思ひます。全てが大手企業のように教

制を、学校ベースに何かやれないものか同窓会の皆様にも考えていただきたいものです。ネット利用のシステムなどに於いても。

このように、東交OB相互扶助で更に絆を深め、同窓会を盛り立てていけば他の専門学校などに真似のできない磐石な体制が構築できるように思ひますが皆様はどう思われましようか。



伊豆高原駅にて



平成 27 年 9 月 東交祭「同窓会コーナー」スナップ

会員解放区

京成電鉄へようこそ

第三十七回生

井口 悟



私が勤務する京成電鉄は、京成上野から成田スカイアクセス線経由成田空港

を結ぶスカイライナー（有料特急）、京成上野から京成本線経由特急成田空港行で京成成田駅下車は、成田山新勝寺、成田参道散策に、成田には土木遺産となった明治四十二年開業の成東電気軌道のトンネルが二つあります。

また、京成高砂で金町行き柴又駅下車には、松竹映画の「男はつらいよ」シリーズの寅さんのふるさと、柴又と帝釈天、帝釈天の回廊には明治三十二年の帝釈天人車鉄道の彫刻があり、柴又参道散策、寅さん記念館、山田洋次ミュージアム、江戸川の土手に出ると矢切の渡しがあり、渡し船乗船の体験ができます。

そして、上下線進行方向左側の車窓からは、京成上野〜日暮里間のトンネル内では二駅の廃止駅跡をチラ見できます。関屋駅では「三年B組金八先生」のロケ地があり、新名所としては、押上駅スカ

イツリー前があります。

下町といえば、まず商店街、日暮里はよくテレビに出る谷中銀座と猫カフェが有名などところでもある。新三河島の荒川中町通りに、京成立石のアーケード仲見世には飲んべえ横丁もあり、京成曳舟には下町人情キラキラ橋通りがあります。

行楽日和には、二つのおトクなきつぷがあり、一つは成田山新勝寺、成田散策に「成田開運きつぷ」、二つ目は都内京成線の日一乗車券で「下町日和きつぷ」があり、二つとも発行当日限り、各対象施設で提示すると優待特典を受けられます。詳細は京成電鉄のホームページをご覧ください。散策には、JTBの「タビハナおさんぽ東京下町」、まっぷる東京下町散策、ブルーガイド「東京スカイツリー&東京下町」、交通新聞社「散歩の達人」、京成線散歩に「京成電鉄の世界」とPHIP研究の「京成電鉄のひみつ」をお薦めします。私たちが京成電鉄では、皆様のお越しをお待ちしています。（京成電鉄勤務）

亀川先生と池袋

第十五回生

半沢 貞夫

古い交通新聞をめくっていたら、亀川徳一先生のお名前と池袋の関わりが目に入り、読んでみたら大変興味ある文章だ

つたので抜粋紹介したい。

「池袋」

「池袋」という地名の由来は諸説あり、村には水田が窪地となっており、地形が袋のようになっていたという説などの中に、「池の中から亀が袋を背負って出てきた」という伝説もあるという。また、東口周辺は森林地帯で享保年間には毎夜、追剥ぎや辻切りが出没するほどで非常に寂しいところだったらしい。

日本鉄道は、明治十六年に上野〜熊谷間に鉄道を開業させるが、当初官設鉄道と連絡する品川を起点にしていたものの、地形の複雑さから上野に変更したという経緯もあり、早期に既設の線路を官設鉄道に連絡する必要性から、明治十八年に品川〜赤羽間を開業した。この時の駅は渋谷、新宿、板橋の三駅で池袋は入っていなかった。

池袋ができるのは十八年後の明治三十六年、それまで日本鉄道は土浦線、隅田川線を赤羽迂回で官設鉄道と連絡していたが、より短時間での連絡が要請され、田端〜池袋間の豊島線を開業させた。

駅の開業により王子電車、東上鉄道、武蔵野鉄道の鉄道線も開業、交通が便利となったことから、都市化が進み明治四十年頃より広大な土地に立教大学、豊島師範、成蹊実務学校などが開校することとなる。

「鉄道教習所」と亀川先生

国鉄の鉄道教習所は、明治四十二年に鉄道院総裁の後藤新平の発案によって発足、さらに十河信二鉄道省会計課長らの強力な推進によって拡大された。しかし大正十二年九月の関東大震災によって麹町にあった鉄道省教習所は完全に消滅、再建の地となったのが池袋であった。

東京鉄道教習所の講師を務めた亀川徳一先生は、時の鉄道次官中川正左先生から鉄道教育機関を設ける場所を探せとの命を受け、池袋の成蹊学園の跡地を買収、やがてこの地に広大な鉄道学園の殿堂が出来上がることとなる。さらに東京鉄道中学校（夜間部・現芝浦工大付属高校）も亀川先生の斡旋で校舎が利用されることとなった。

しかし、昭和二十年四月二十三日の空襲による被害は大きく、駅舎と共に鉄道教習所の建物も一部を残して焼失、戦後の教育は池袋のほか三島、国分寺、中野、松戸などに分散して継続されたのである。

「池袋ルネサンス」

戦災で荒廃した焼け跡には、古材を集めて宿舍が急造された後の国鉄総裁磯崎勲氏、日通会長広瀬真一氏などが入居していた。その後この地は、ホテルメトロポリタンや総合文化会館など池袋ルネサンスの時代を迎えるのである。

（交通新聞サービズ勤務）

会計報告書 (平成 27 年度)
(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

平成 28 年 4 月 1 日
東京交通短期大学 同窓会

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|------|-----------|----------------|------|-----------|---------------------------------|
| 項目 | 金額(円) | 適要 | 項目 | 金額(円) | 適要 |
| 繰越金 | 835,153 | | 集会費 | 301,155 | 東交祭・幹事会懇親会 伊豆急イベント |
| 会費 | 390,000 | 5,000 円 × 78 名 | 事務費 | 1,144 | 同窓会長賞賞状 |
| 臨時会費 | 229,700 | 東交祭・幹事懇親会 | 通信費 | 374,051 | 東交祭・総会案内状、イベント 会報 39 号発行・発送等 |
| 寄付金 | 46,372 | 会員 4 名より | 渉外費 | 35,424 | 会長賞記念品代、伊豆急イベント |
| 雑収入 | 165 | 利息 | 会議費 | 60,388 | 会報編集打合せ等 |
| | | | 雑費 | 1,296 | 同窓会コーナー備品 |
| | | | 繰越金 | 727,932 | |
| 収入計 | 1,501,390 | | 支出計 | 1,501,390 | |

この報告書は検討の結果、その収支は正当かつ妥当であることを認めます。

平成 28 年 4 月 1 日 会計監査 堀 丈夫[㊞]、村越 輝夫[㊞]

「平成二十八年年度 同窓会総会」の
開催について

「平成二十八年年度総会」を平成二十八年九月十七日、十六時十五分より学校において開催いたします。なお、「懇親会」は、総会と場所を変えて総会終了後十七時三十分頃より開催いたします。参加人員把握のため、同封のご案内をご覧のうえお申し込み下さい。

【訃報】

佐藤 勝治 元助教

佐藤先生におかれましては、病氣療養中のところ、平成二十八年四月二十四日御逝去されました。先生は、関東鉄道(株)にご勤務の後、平成十三年四月に豊昭学園にご奉職され、交通短大では、「基礎教養科目」基礎ゼミ、「キャリア科目」キャリア支援論、キャリアアップ実践、実践基礎能力論、「観光科目」観光学概論、キャリア支援論、実務基礎能力論、旅行実務論、観光プランニング論をご担当され、またキャリア支援(進路)室長としてご指導いただきました。同窓会におきましても、学校側との会計処理等のパイプ役としてご尽力いただきました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

お知らせ

一、会報バックナンバー
インターネットより <http://www.hoshio.ac.jp/toukou/03/index.html> にアクセスしていただき、会報ボタンをクリックすると、第二十二号から第三十二号まで閲覧できます。

二、同窓会事務局運営スタッフ募集

同窓会で行う行事や同窓会報およびホームページ作成をお手伝いいただける方を随時募集しておりますので、同窓会事務局宛てに書面もしくは電子メールでお問い合わせください。

三、原稿執筆案内

①題 材 自由

②執筆要領

・文章の場合、市販の原稿用紙か電子データの入ったメディアを郵送、または電子メールにて、八〇〇字程度でお願いします。

・写真/イラスト/カットの場合、そのまま版下とします。電子データでも結構です。いずれもタイトル、卒回、氏名、勤務先を明記し、写真も添付してください。

③原稿締切 毎年一月末日

④送付先 〒一七〇〇〇一

東京都豊島区池袋本町二一九一

東京交通短期大学 同窓会事務局宛

E-mail: toukouOB@gmail.com

編集後記

▼会報も四十号の発行となりまして、歴代編集スタッフには感謝申し上げます。会報につきま

しても、今後学校並びに在学生との連帯を保つ方策として、同窓生の現況、特にお仕事を取り組まれた方の経験談、また在校生からも質問等のご寄稿をいただき三者間の架け橋となることが役割と思

います。(H)

(付録)

平成 23 年 3 月 8 日

個人情報の取り扱いについて

東京交通短期大学同窓会

東京交通短期大学同窓会（以下「同窓会」という）は、「個人情報の保護に関する法律」が施行されたことに伴い、個人情報保護の重要性に鑑み、同窓会活動を行うにあたり、以下の個人情報保護方針に基づき、個人情報を適法かつ適正に取得・利用・提供・管理し、もって同窓会の保有する個人情報の保護に努めます。

1. 同窓会は、個人情報の保護を定めた諸法令及びその他の規範を遵守し、個人情報の保護及び取り扱いに努めます。
2. 同窓会は適法かつ適正な手段によって個人情報を取得し、利用目的の達成に必要な範囲において、個人情報を利用し又は提供することに努めます。
3. 同窓会は、個人情報に関する個人の権利を尊重し、自己の個人情報について、訂正・削除・開示等の要請があった場合には、妥当な範囲、合理的な期間で速やかに対応することに努めます。
4. 同窓会は、個人情報を利用目的の達成に必要な範囲において、正確かつ最新の内容に保つように努めます。
5. 同窓会は、個人情報の漏洩、滅失又は毀損の防止、その他個人情報の安全管理のために、不正アクセス・コンピューターウイルス等に対する適切な情報セキュリティ対策を講じるなど、必要かつ適正に管理を行うことに努めます。
6. 同窓会は、個人情報に関する取り組みを、今後も組織的に継続して行い、その内容に改善を図ることに努めます。

以上